

令和2年度 都農町立都農東小学校・内野々分校 自己評価書及び学校関係者評価書

| | |
|----------|----------------------------|
| 学校経営ビジョン | ○ のびる・楽しい・安全な学校 |
| | ○ 楽しい学校 信頼できる学校 地域とともにある学校 |

【評価基準 4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

| 重点指導項目 | 方法・手立て | 評価内容 (児童:児 職員:職 保護者:保) | 自己評価 | | ○数字 学校の自己評価コメント・改善点 ■ 学校評議委員会のコメント | |
|-------------------|---------------------|----------------------------------|--|-------------------|---------------------------------------|---|
| | | | 児学保 | 総合 | | |
| 確かな学力の向上をめざして | ①「わかる・できる」授業の実践 | ●校内研修の充実 ●学カタイムの取組 | 児:授業は、わかりやすいですか。 職:「わかる・できる」授業を実践できている。 保:子どもは、授業がわかりやすいといっている。 | 3.6 2.9 3.1 | 2.8 | ①授業が分かりやすいという児童の評価が高い。引き続き、ICT 機器の活用など、児童の興味関心を高め、主体的な態度を育成する学習を進める。 ②家庭学習については、職員と保護者の評価が低い。児童一人一人の明確な目標の実現に向けて、家庭でも学習する流れをつくる。 ③読書については、児童の評価で一番低く、職員や保護者も低い。読書の時間を校時程や家庭学習にも位置付け、授業では図書の活用を図り、日常的に読書に取り組む環境を整える。 ■ |
| | ②家庭学習の充実 | ●家庭学習カードによる取組 ●家庭学習の日常的な支援 | 児:おうちでは、すすんで勉強をしていますか。 職:児童は、家庭学習に積極的に取り組んでいる。 保:子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。 | 3.0 2.7 2.7 | | |
| | ③読書活動の推進 | ●読書タイムの設置 ●読書月間の取組 | 児:本をよく読んでいますか。 職:読書活動の充実が図れている。 保:子どもは、読書をよくしている。 | 3.0 2.8 2.4 | | |
| 児童が楽しいと感じる学校をめざして | ④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応 | ●組織体制の構築 ●初期対応の実施 | 児:学校は、楽しいですか。 職:生徒指導・特別支援教育について組織的な対応ができている。 保:子どもは、学校が楽しいといっている。 | 3.7 3.2 3.4 | 3.3 | ④学校が楽しいと答えている児童の割合が高い。特別な支援を要する児童に学びの機会を保障する組織体制を確実なものにしていく。 ⑤友人関係が良好という評価が全項目中最も高い。今後も、教育相談の充実など組織全体で取り組んでいく。 ⑥児童・保護者ともにあいさつの評価は高い。あいさつは、コミュニケーション能力を高める方法ととらえて、さらに指導を充実させていく。 ■ |
| | ⑤いじめ・不登校〇の取組 | ●教育相談の充実 ●あすなろ会での共通理解 | 児:たくさんのお友だちとなかよくできていますか。 職:いじめの未然防止と早期発見に努めることができている。 保:子どもの友人関係は、良好である。 | 3.8 3.2 3.4 | | |
| | ⑥あいさつの励行 | ●日常的な指導の徹底 ●地区別交通集会の取組 | 児:進んで大きな声であいさつができていますか。 職:気持ちよいあいさつができるように日常指導が行われている。 保:子どもは、気持ちよいあいさつをしている。 | 3.4 3.0 3.1 | | |
| たくましい身体育成をめざして | ⑦感染症・病気の予防 | ●検温・マスク着用・うがい・手洗いの徹底 ●歯の治療の啓発 | 児:手洗いやうがいなど、病気の予防を行っていますか。 職:感染症や病気の予防について、指導の充実が図られている。 保:子どもは、感染症や病気の予防に努めている。 | 3.6 3.3 3.0 | 3.0 | ⑦病気の予防については、児童の評価は高い。引き続き感染予防に努めさせる。東小は虫歯の治療率が低いので、治療を積極的に進めていく。 ⑧生活習慣の確立については、職員や保護者の評価がやや低い。早寝・早起きの奨励から始めて、脳科学や医学の観点から望ましい生活習慣の確立を目指す。 ⑨よく運動をしているという児童が多いが、職員や保護者の評価は低い。体育の時間の指導方法を工夫して運動量を確保し、学期ごとに朝の活動の中に運動の時間を位置付けて、体力の向上を図る。 ■ |
| | ⑧生活習慣の確立 | ●さわやかタイムの毎月の実施 ●家庭への啓発の実施 | 児:早ね、早おきができていますか。 職:規則正しい生活リズムが確立されている。 保:子どもは、早寝・早起きの習慣が身に付いている。 | 3.2 2.7 2.8 | | |
| | ⑨体力の向上 | ●体育の時間の指導法の工夫 ●朝の体育活動の取組 | 児:よく運動をしていますか。 職:体力テストの課題克服に向けて体育の指導を工夫している。 保:子どもは、進んで運動をしている。 | 3.4 2.4 2.8 | | |
| 地域とともにある学校をめざして | ⑩体験活動の充実 | ●生活科・総合的な学習等の取組 | 職:地域の人材を可能な範囲で活用し、体験活動の充実を図っている。 保:学校は、体験活動に積極的に取り組んでいる。 | 2.6 3.1 | 2.8 | ⑩体験活動については、新型コロナウイルス感染防止の影響を受け、職員の評価は低い。地域の人材を今まで以上に授業や行事に活用できるように、地域コーディネーターと連携して組織体制を構築していく。 ⑪キャリア教育については、職員の評価が特に低い。総合的な学習の時間をキャリア教育の観点で再構築していく。 ⑫情報の発信については、職員も保護者も評価は低くはない。今後は、積極的な情報発信に努め、行事等を掲載する時間を確保することで更なる内容の充実を図る。 ■ |
| | ⑪家庭・地域との連携 | ●キャリア教育の推進 | 職:キャリア教育を推進して、地域との連携を図っている。 保:学校は、地域との連携が図られている。 | 2.3 3.1 | | |
| | ⑫積極的な情報の発信 | ●文書の配付やホームページによる情報発信 | 職:家庭や地域に積極的に情報を発信している。 保:学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信している。 | 3.0 3.1 | | |

※ 「地域とともにある学校をめざして」の自己評価は、職員と保護者のみの結果である。